

# 国土形成計画(全国計画)に関する報告(素案)の構成図

## 第1部 計画の基本的考え方

### 第1章 時代の潮流と国土政策上の課題

<経済社会情勢の大転換> ・本格的な人口減少社会の到来、高齢化の進展 ・グローバル化と東アジアの経済発展 ・情報通信技術の発達	↔	<国民の価値観の変化・多様化> ・安全・安心、環境や美しさ、文化に対する国民意識の高まり ・ライフスタイルの多様化、「公」の役割を果たす主体の成長
--	---	---

<国土をめぐる状況> ・一極一軸型国土構造の現状(引き続き東京・太平洋ベルトへの集中、新たな成長戦略の必要性)	・地域の自立的発展に向けた環境の進展(東アジアとの直接交流機会の増大等) 都道府県を越える広域的課題の増加	・人口減少等を踏まえた人と国土のあり方の再構築の必要性(国土のひずみの解消と質の向上)
--	---	---

### 第2章 新時代の国土構造の構築

<新しい国土像>  
 「多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土の形成を図る」

- 各広域ブロックが、東アジア等との交流・連携、資源を生かした特色ある地域戦略の展開により、成長力を強化
- 地域間の相互関係を維持発展させつつ、美しく信頼され質の高い「日本ブランドの国土」を再構築
- このため、成長エンジンとなる都市・産業の強化、ブロック内外の交流・連携の促進、多様な主体の協働による地域力の結集

<自立的な広域ブロック形成に向けた国と地方の協働>

・広域地方計画の策定 ・官民による地域戦略を支え実現する支援等国の総合的支援	・地方分権等の環境整備 ・計画期間 ・今後概ね10ヶ年間
---	------------------------------------

### 第3章 新しい国土像実現のための戦略的目標

(グルーバル化や人口減少に対応する国土の形成)	(安全で美しい国土の再構築と継承)
(1) 世界に発展するシームレスアジアの形成 東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化 東アジアとの交流・連携の推進 シームレスなアジアの形成とアジア・ゲートウェイを支える国土基盤の形成	(3) 災害に強いしなやかな国土の形成 減災の観点も重視した災害対策の推進 災害に強い国土構造への再構築
(2) 持続可能な地域の形成 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成 地域資源を生かした産業の活性化 美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開 地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進	(4) 美しい国土の管理と継承 循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成 流域圏における国土利用と水循環系の管理 海域の適正な利用と保全 魅力あふれる国土の形成と国土の国民的経営
(5) 「新たな公」を基軸とする地域づくり(横断的視点) 「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム 多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり	

### 第4章 計画の効果的推進

(1) 国土基盤投資の方向性 (2) 国土情報の整備・活用と計画のモニタリング (3) 計画関連部局の点検等 (4) 国土利用計画との連携

## 第2部 分野別施策の基本的方向

### 第1章 地域の整備

- 住生活の質の向上及び暮らしの安全・安心の確保(中古住宅市場整備等)
- 暮らしやすく活力ある都市圏の形成(集約型都市構造、医療等の連携等)
- 美しく暮らしやすい農山漁村の形成(集落機能の維持・再生等)
- 地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進(二地域居住等)
- 地理的・自然的・社会的条件の厳しい地域への対応

### 第2章 産業

- イノベーションを支える科学技術の充実(科学技術基盤の強化等)
- 地域を支える活力ある産業・雇用の創出(魅力ある企業立地環境整備等)
- 食料等の安定供給と農林水産業の展開(担い手育成・確保、輸出促進等)
- 世界最先端のエネルギー需給構造の実現とその発信

### 第3章 文化及び観光

- 文化が育む豊かで活力ある地域社会(新しい日本文化の創造・発信等)
- 観光振興による地域の活性化(国際競争力のある観光地づくり等)

### 第4章 交通・情報通信体系

- 総合的な国際交通・情報通信体系の構築(広域ブロックゲートウェイ等)
- 地域間の交流・連携を促進する国土幹線交通体系の構築
- 地域交通・情報通信体系の構築(ユビキタスネットワーク基盤等)

### 第5章 防災

- 総合的な災害対策の推進(減災、交通・情報通信のリダンダンシー強化等)
- 様々な自然災害に的確に対応するための具体的施策

### 第6章 国土資源及び海域の利用と保全

- 流域圏に着目した国土管理(総合的土砂管理等)
- 安全・安心な水資源確保と利用(渇水に強い地域づくり等)
- 次世代に引き継ぐ美しい森林(担い手育成・確保等)
- 農用地等の利用の増進(農地の効率の利用等)
- 海域の利用と保全(沿岸域圏の管理等)
- 「国土の国民的経営」に向けた施策展開

### 第7章 環境保全及び景観形成

- 人間活動と自然のプロセスとが調和した物質循環の構築(温暖化対策等)
- 健全な生態系の維持・形成(広域的なエコネットの形成等)
- 良好な景観等の保全・形成(地域の個性ある景観の形成等)

### 第8章 「新たな公」による地域づくりの実現

- 「新たな公」の担い手確保とその活動環境整備(中間支援組織の育成等)
- 多様な主体による国土基盤のマネジメント
- 多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり

## 第3部 広域地方計画の策定・推進

### 第1章 基本的考え方

- 広域ブロックごとの特色ある施策展開
- 広域地方計画協議会を通じた地域の関係主体の協働
- 北海道総合開発計画及び沖縄振興計画との連携

### 第2章 独自性のある広域地方計画の策定

- |   |   |
|---|---|
| (1) 策定にあたって必要な検討事項<br>地域の現状分析に基づく地域特性の把握<br>地域の発展に向けた独自の地域戦略の立案<br>重点的・選択的な資源投入 | (2) 地域戦略の立案にあたっての視点<br>国土上の自らの位置付けと東アジアでの独自性の発現<br>特性を踏まえた域内の各都市・地域の連携方策<br>全国共通の課題に対するブロック独自の対応策<br>それぞれの広域ブロック固有の課題への取組 |
|---|---|